

めいわ かわら版



あきは寮 生活支援員 **影山 千夏**

2020年4月に新卒で入職した影山千夏さん。あきは寮のBグループで生活支援員を務めています。日中は、主に室内作業で、26名ほどの利用者さんへの内職提供や、最終チェックを担当。部品のバリ取りや袋詰め作業など、手を動かすことで機能訓練を促しています。どのようなきっかけで、福祉の仕事を選んだのでしょうか。入職から約1年。課題や、やりがいを感じている点などについても聞きました。

学校でも社会福祉の勉強をしていたのですが、どういった理由から福祉の道に進んだのでしょうか。

祖母が、認知症の祖父の世話をしていました。祖母の家は近所であり、その様子を間近で見っていたなか、大変さを常に痛感。

「同じような苦労をしている方の手助けをしたい」。

そう思うようになったことがきっかけです。また、母もデイサービスで介護予防の仕事をしていたため、福祉が身近にある環境だったので、もともと人と関わる職業を希望

利用者さんにとっては、あきは寮が「家」です。家族の代わりとなって生活を助けている実感が、やりがいにつながっています。

ひたむきな姿勢で利用者さんと接している影山さん。日々新たな学びを得て、成長を続けています。これからも誠心誠意仕事に向き合い、多くのことを吸収していくでしょう。



—— 社会福祉法人明和会を選んだ理由についても教えてください。 ——

就職先はかなり悩みました。大学で4年間勉強し、社会福祉士の資格を取得。社会福祉士の仕事は基本的には相談職ですが、まずは現場を経験してみたいと思っていました。

そこで、学校の先生に相談したところ、明和会を紹介されました。実際に見学してみると、雰囲気がとても良かった。明和会はいろいろな施設を所有しているため、長期的に見れば資格を生かせる職種で働けそうだと考え、入職を決めました。

—— 仕事をするなかで、難しいと思う点がありますか。 ——

すぐに応援を呼ぶようにする、それが課題です。利用者さんの安全な生活のためには、少しでも手に負えなくなったら、助けを求めることが必要。例えば、作業中は全体を把握する人が1人はいなければなりません。そこに不安定な利用者さんが入ると、かかりきりになってしまい、全体を把握できなくなります。私は自分から相談するのが苦手。「他の職員も忙しいだろうな」とつい考えてしまい、なかなか声をかけられないのです。一方で、先輩方からは、「いつでも話を聞かからね」とあたたかい言葉をかけていただき、とてもありがたく感じています。

—— では、ご自身の成長を感じる点についてはいかがでしょうか。 ——

仕事を始めて間もないころは、利用者さんが手間取っているのを見

最後に、仕事の楽しさや、やりがいについてお聞かせください。

お話し好きな利用者さんが多く、コミュニケーションを取りながら毎日楽しく働いています。会話は、好きなものや家族のことなど、他愛もない話題がほとんど。ときには「休日はずっと休みました?」と、気づかってくれることもあります。はじめのころは、声をかけても反応が薄い方もいたのですが、最近では、だんだんこたえてくれるようになってきました。

<企業情報>
社会福祉法人明和会
■法人認可：1966年11月
■事業活動収入：22億円
※2021年6月時点
■問い合わせ先：0538-42-3228



拠点 紹介

ことり保育園

ことり保育園
園長
おおば みな
大場 見奈さん



院内保育園として病院の職員のお子さんを預かる、ことり保育園。そんな園の強みや工夫を園長の大場さんに伺いました！
お子さんのことを熟知し、細やかな保育をする秘訣とは？

主な業務内容

看護師や医師、事務など病院の職員の方のお子さんをお預かりしています。園長としての私の業務は主に園内の統括をすることですが、人が足りない場合は現場に入っています。メンバー構成は、園長1名、主任1名、保育士が8名、調理員2名の計12名です。

自慢できるところや強み

職員全員、向上心があるところです。特に園内研修や職員会議での発言に、保育に対する熱意が伝わってきます。掛川市では年に3~4回、各部門に分かれて、公開保育や発達支援、経営、主任研修など幅広い研修を行っています。コロナ禍ではありますが、Web講演会やリモート研修など、みんな積極的に参加し、知識を深めています。

日頃から子どもとのコミュニケーションが取れているところも強みです。経過記録などの書類から、子どもをよく観察した上で丁寧に書かれていることがわかります。また担任でなくても子どもの情報も職員内で共有し、活かしています。

施設の強みとしては、院内保育園として病院の職員さんの都合に合わせて昼夜問わず柔軟に預かることができる点です。

工夫していること

病院と連携して、親御さんのお仕事がスムーズにいくように保育しています。例えば、熱が出たら、「とにかくすぐにお迎えに来てもらう」のではなく、仕事にも配慮してきりの良いところでお迎えのお願いをしています。



思い出エピソード

保護者の方から「保育園が良かった」とお言葉をいただいたり、卒園した後に親子で顔を見せてくれたりすることがよくあります。また、園では夏祭りや野菜販売などのイベントを開催しています。そこで卒園したお子さん同士が横のつながりを感じられることも嬉しいなと感じています。

仕事のやりがい

毎日子どもの笑顔が見られることです。それは職員全員が毎日頑張ってくれているおかげだと思います。私はもともとOLを目指していましたが、保育士こそが私の天職でした。

今後の目標

院内保育所として、医療従事者の方々が安心してお子さんを預けて働けるように、また、子どもたちに楽しい経験をたくさんさせてあげられるような保育園でありたいと思っています。

一番好きな施設のイベント

今回はことり保育園の皆さんに一番好きなイベントを伺いました。
多くのイベントが挙げられていてどれも楽しそうですね。理由も合わせて覗いてみましょう！

保育士
はしぐち あすか
橋口 明日香さん



「発表会」

4月から約半年間の子どもたちの成長を感じることができるからです。日頃の保育の中でこの子たちとどのようなものを作り上げていかを考えることも1つの楽しみになっています。保育園での様子を唯一保護者の方々に見ていただくことができ、子どもたちの成長を共に喜び合うことができます。



保育士
すずき ゆみこ
鈴木 由美子さん



「発表会」

これまで園でやってきたことを、保護者の方にみせられるので、成長を分かち合えるところが魅力です。

保育士
たかいし まゆみ
高石 真由美さん



「絵画あそび」

講師の先生が来てくれて、遊びの中で子どもたちに絵のこを中心に教えてくれます。絵のことだけでなく、いろいろな遊びをしてくれるので、私たち保育士にとっても良い学びの時間となっています。子どもたちの絵にも、回を追うごとに成長を感じていて、とても良い時間だと思っています！



保育士
わたなべ まり
渡邊 麻里さん



「お別れ遠足」

2歳児担任ならではのイベントで、愛情弁当を持ってバスに乗り、普段の保育では行けない大きな公園で、ことり保育園での最後の思い出作りをします。公園で遊ぶ子どもたちの目の輝きと、お弁当を開けたときの嬉しそうな表情がとても印象的で、こちらまで嬉しくなります。もうすぐお別れという寂しさも大きいですが、慣れ親しんだクラスの子どもたちと楽しい思い出の1コマを共有できることが何より嬉しいイベントです。



保育士
はらだ なおみ
原田 尚美さん



「かき氷屋さんごっこ」

夏の暑い時期になると、プールサイドでかき氷屋さんごっこが始まります！支度を始めると子どもたちがワクワク、目をキラキラさせて集まってきます。暑い中で食べるひんやり冷たいかき氷に子どもたちも大喜びで、「おかわり!」「こんどはイチゴにする!」と嬉しそうな表情に、私たち保育士もわくわく楽しいイベントです。



調理員
ごとう ちなみ
後藤 千名美さん



「干し芋作り」

給食室でふかしたお芋を干し網に並べて干し芋作りをするのですが、「ちょっと味見!？」とつまみ食いしたり、「まだかな?」「早くできないかな…」と干し網の中をのぞいたりする姿がとてもかわいいです。大きいお芋をほおぼる子、小さいお芋を何回もおかわりする子がいてみんなお芋が大好きです。

